

浅田福一教授のご退職に際して

今年もまた本学部で永年教育・研究に携わってこられた先生をお送りしなければならない時期がやってまいりました。

浅田福一教授は2002年（平成14年）3月31日をもって本学を退職されることとなります。

教授は1957年（昭和32年）に関西学院大学法学部法律学科を卒業後、32年の長きにわたり社団法人国際商事仲裁協会でお働きになり、その間大阪支部事務局長、協会理事等を歴任されました。1989年（平成元年）に関西学院大学商学部教授としてお迎えし、その後現在に至るまで13年間にわたり商学部の教育・研究に力を尽くして下さいました。

長年の豊富な実務経験にもとづいた浅田教授の御講義は、理論に偏りがちな日本の大学の講義形態にあって、極めて新鮮かつ刺激的であり、誠実で温かいお人柄と相俟って教授は学生に多大な感銘を与えてくれました。

また研究面においても、教授は多数の著書を刊行され、国際商事仲裁に関する様々な理論的、現実的提言を行ってくれました。教授のこのような理論・実践両面にわたる均衡のとれた研究姿勢は、私達が今後とも永く模範とすべきものであると思います。さらに、学部行政においても、学内の委員会で種々の計画・立案の中心となられ重要な貢献をされたことも忘れることができません。

ご退職にあたり、浅田教授の永年にわたる商学部ならびに関西学院大学の教育・研究への多大な貢献を称え、ここに記念論文集

を刊行できますのは私達の大きな喜びとするところであります。教授の長年の商学部へのご尽力に感謝申し上げますとともに、今後益々のご健勝と教育・研究者としてのご活躍を心からお祈り申し上げます。

終わりにあたり、この記念論文集の刊行にあたって執筆下さいました先生方、編集にたずさわって下さいました商学論究編集委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。

2002年3月

商学部長 杉原左右一